

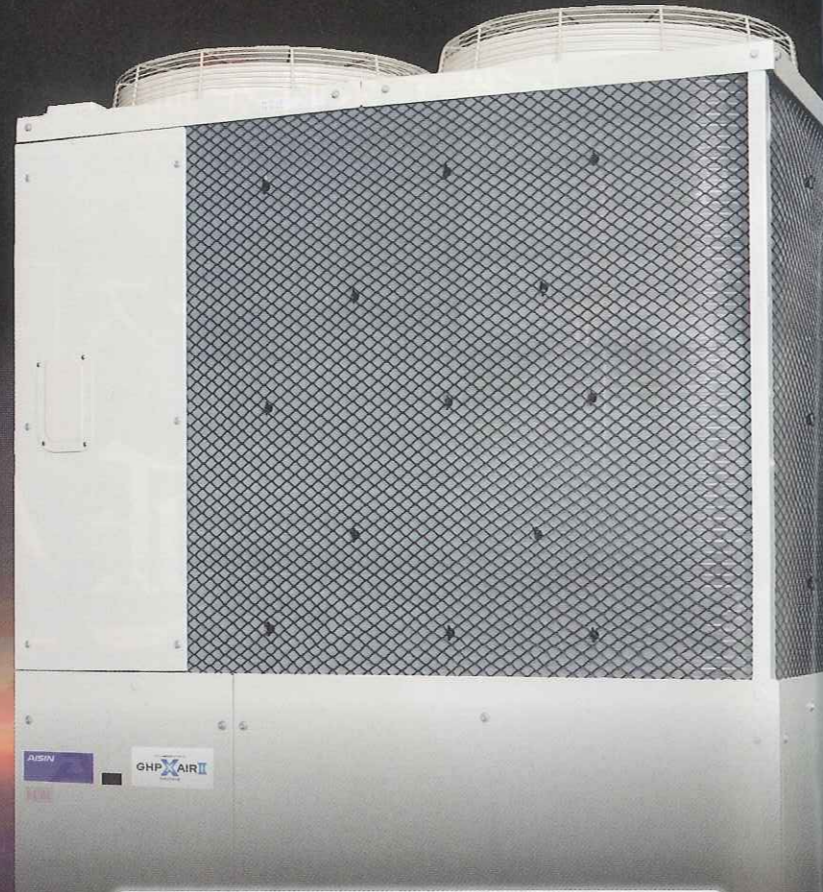
新世代 の 幕開け

F1シリーズ「エグゼアII」
誕生!

2015年10月発売 560形 710形 850形

節電・省エネ時代の空調として期待が集まる
GHP(ガスヒートポンプエアコン)。

2015年10月、そのGHPがさらに進化し
“F1シリーズ「エグゼアII」”として誕生します!



省エネルギー &
ピークカットニーズへの対応

拡大する
大型機ニーズへの対応

スマート&超高効率 ヒートポンプ

GHP XAIR II

GHPエグゼアII

※商標「エグゼアII」、エグゼアIIロゴマークは、東京ガス株式会社、大阪ガス株式会社、東邦ガス株式会社の登録商標です。

超高効率ガスエンジンヒートポンプ GHP XAIR(エグゼア)IIとは

「GHP XAIR」の「X」は、「究極の効率」や「無限の可能性」を、「AIR」は「快適な環境」、「快適な空調」、「AIR conditioner=空調システム」の意味をもちます。そして、「GHP」と「AIR」を合わせることで(掛け算のX)によって、お客さまによりよい「空調」と「環境」を提供する次世代の「超高効率ガスエンジンヒートポンプ」であることを表現しています。「GHP XAIR II」は、2011年発売の「GHP XAIR」の次世代機として、年間エネルギー効率をさらに向上させています。

ひと目で
わかる

F1シリーズ「エグゼアII」の特長

省エネ性

ファン周辺部の形状を最適化し、通風抵抗を抑えたため、送風効率が向上しました。

詳しくはP.3のtechnology 3へ

省エネ性

熱交換器の伝熱性能向上により効率的に熱交換が可能になりました。

詳しくはP.3のtechnology 1へ

省エネ性

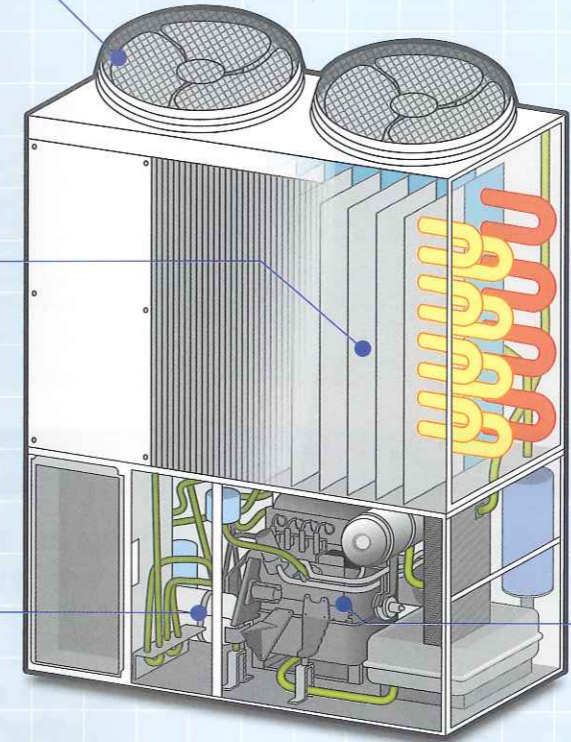
冷媒流路を見直して、コンプレッサの回転数を下げました。

詳しくはP.3のtechnology 2へ

従来機よりも低負荷運転領域の効率がアップし、省エネ性が向上している点が特長です。

しかも、コンパクトで軽量!

「新たな省エネ技術」の結集で実現した「F1シリーズ「エグゼアII」」をご紹介します。



豊富なラインアップ

560形・710形・850形
ともにフルラインアップ。

詳しくはP.5のmerit 1へ

コンパクト

熱交換面積が拡大しても、設置スペースは従来機と同様の面積!

詳しくはP.5のmerit 2へ

省エネ性

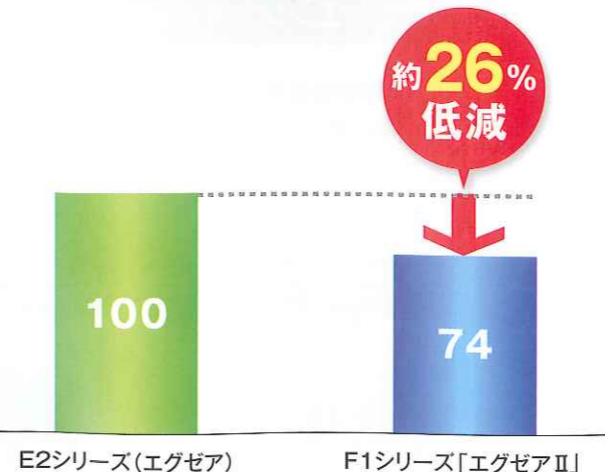
低粘度オイルの採用でエンジン内の抵抗を減らし、燃費が向上しました。

詳しくはP.3のtechnology 4へ

上記の技術により効率UP!

優れた省エネ性を実現!

一次エネルギー消費量比較



約26%
低減

APFp
(年間エネルギー効率)
全機種平均 **1.8** 以上
達成!



※100馬力相当の事務所物件を想定した当社試算結果に基づきます。
※ビル用マルチ560形×5台とビル用マルチ710形×4台の一次エネルギー消費量を平均した値です。
※一次エネルギー消費量比較での電気は1kWを9760kJとして一次エネルギーに換算した値です。
※設置条件、運転条件により効果は異なります。

多彩なラインアップと コンパクト化による設置性向上

merit 1 豊富なラインアップ

ビル用マルチ、まとマルチ、ハイパワーマルチ、ハイパワーまとマルチのフルラインアップ。各タイプにリニューアル対応機をご用意しています。

■ラインアップ (ガス種は都市ガス13A, LPガス(い号プロパン)対応。)

F1シリーズ 560・710・850形	単独設置 (注1)	連結設置 まとマルチ
ビル用マルチ	●	●
ビル用マルチ(リニューアル対応機)	●	●
ハイパワーマルチ	●	●
ハイパワーマルチ(リニューアル対応機)	●	●

(注1) ガス種: LPガス(い号プロパン)の場合は、まとマルチタイプを単独設置していただき、ビル用マルチとしてご使用いただけます。 ※標準仕様[臭気低減機能付](LPガス(い号プロパン)を除く)、塩害仕様、寒冷地仕様(ハイパワー機は除く)もご用意しております。

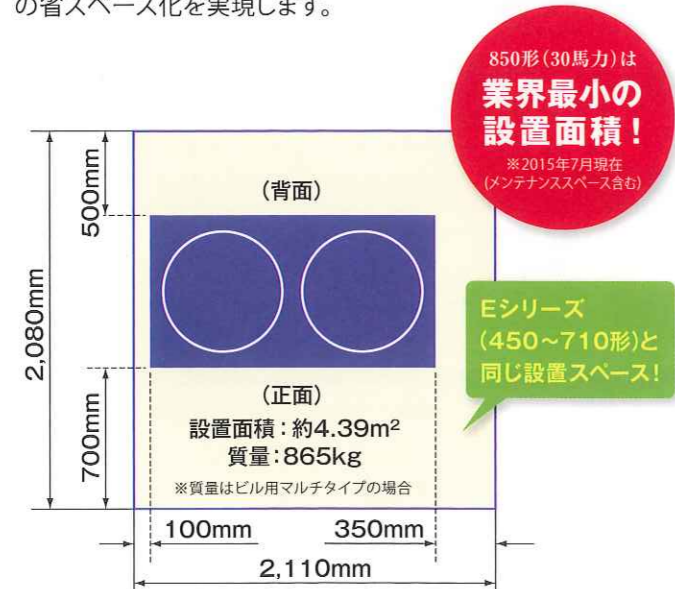
■まとマルチタイプの組み合わせ

	560形 (20馬力)	710形 (25馬力)	850形 (30馬力)
560形 (20馬力)	560形×2台(40馬力)	560形+710形(45馬力)	—
710形 (25馬力)	560形+710形(25馬力)	710形×2台(50馬力)	710形+850形(55馬力)
850形 (30馬力)	—	710形+850形(55馬力)	850形×2台(60馬力)

※450形との組み合わせの場合は、E2シリーズ(エグゼア)をご採用ください。2016年春のF1シリーズ「エグゼアII」450形発売後に、F1シリーズ「エグゼアII」で組み合わせ可能になります。

merit 2 省スペース、軽量

Eシリーズ同様の1面メンテナンスを維持することで“ダントツ”の省スペース化を実現します。

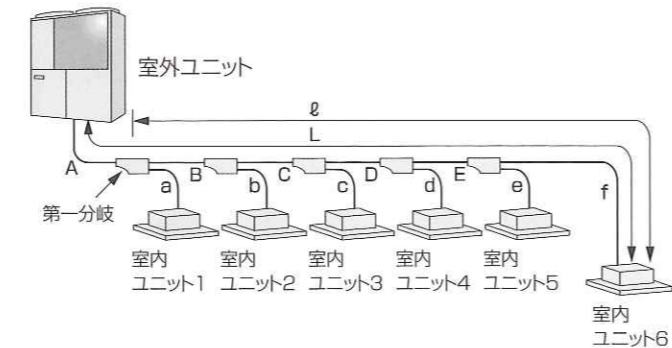


merit 3 設計自由度の向上

第一分岐以降の配管長差、最遠配管長が拡大し、Eシリーズより設計自由度が向上しました。

第一分岐以降の配管長差 (ℓ-a)	第一分岐以降の最遠配管長 (ℓ)
40m 以下	60m 以下
70m 以下 (注1)	90m 以下

(注1) 40m以上の場合、室内ユニットの高低差に制限があります。



ガス空調でこんなお悩みありませんか?

F1シリーズで解決!

- ✓ ピーク時の消費電力を大幅に削減したい
- ✓ 老朽化した空調機をリニューアルして、ガス代や電気代を削減したい!
- ✓ 空調の更新をしたいが、業務をストップしたくない
- ✓ フロアに余裕をもたせて、新規システムの導入に備えたい

ハイパワーマルチ(リニューアル対応機)なら、EHPと比べて消費電力量は1%以下なので、ピーク時のデマンド低減や省エネに貢献できます。

旧型のGHPから高効率化したGHPへのリニューアルで、ガス消費量・消費電力量を削減できるので、エネルギーコストを削減できます。

GHPはもちろんEHPの既設配管を配管洗浄レスでそのまま利用(注1)できるため、工期を短縮でき、業務への影響を最小限に抑えられます。

既設の複数の室外ユニットを1台にまとめて省スペース、軽量化。建物構造への負担を軽減できます。配管もまとまるため、工事にかかる費用を削減できます。

(注1) 設置状況、機種によって洗浄が必要な場合があります。

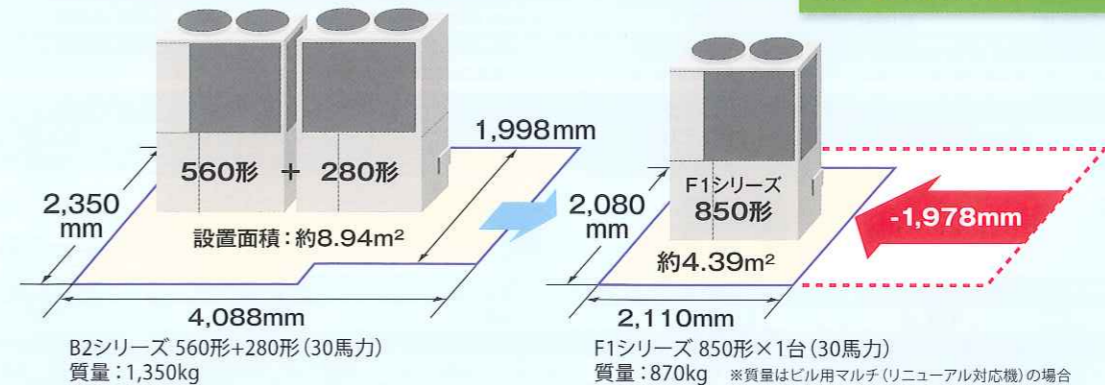
F1シリーズ「エグゼアII」リニューアル例



例1 ビル用マルチ850形(30馬力)×1台の場合

30馬力の物件の場合、これまで560形(20馬力)×1台+280形(10馬力)×1台で対応していましたが、F1シリーズの850形(30馬力)×1台で対応可能になりました。

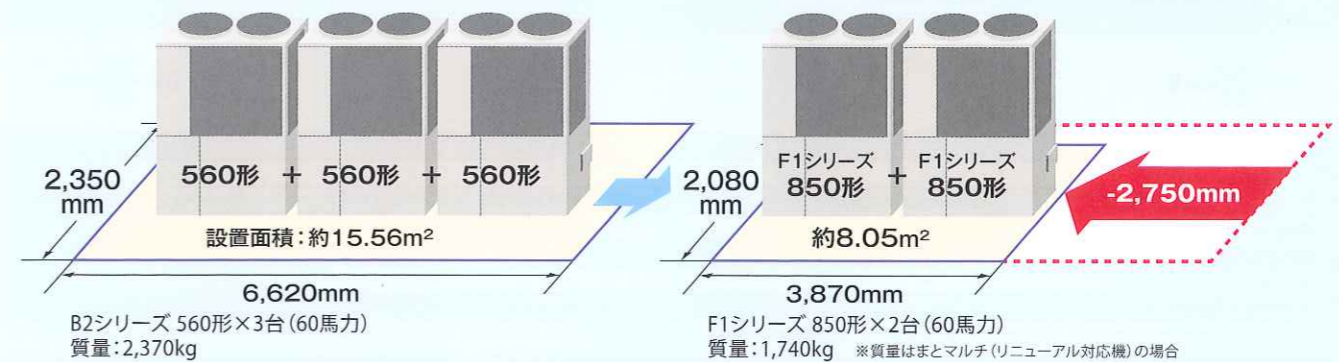
約**51%**設置スペース削減
約**36%**軽量化



例2 まとマルチ(リニューアル対応機)850形(30馬力)×2台の場合

60馬力物件の場合、これまで560形(20馬力)×3台で対応していましたが、F1シリーズのまとマルチ(リニューアル対応機)なら850形(30馬力)×2台となり、スペースを大幅に削減できます。

約**48%**設置スペース削減
約**27%**軽量化



ほかにもメリットいろいろ

まとマルチによる長寿命化

メンテナンス費用を低減

配管材料、作業費を低減

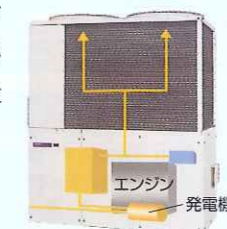
バックアップ運転による安心感(注1)

(注1) 故障の内容によってはバックアップにならない場合があります。

例3 EHPをF1シリーズハイパワーマルチにリプレース



ハイパワーマルチは、発電機搭載によりファンモーターや冷却水ポンプへの電力を供給できるため、消費電力を大幅に低減できます。受電容量を抑えたい物件でのリニューアルに最適です。



<条件> ・定格時冷暖房平均、560~850形平均
・GHPの値はJIS-B8627:2015基準に基づいています。
・EHPの値はJRA4002:2013Rに基づいています。

※商標「ハイパワーマルチ」、ハイパワーマルチロゴマークは、大阪ガス株式会社の登録商標です。